MAK-285A　AQ26　2013年2月1日発行

LIXIL TOSTEM

リコステージ用 フェンス(土間納まり用)　取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本製品取付けの際は、「リコステージ用フェンス取付け説明書」(笠木セットに同梱)を併せてご覧ください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

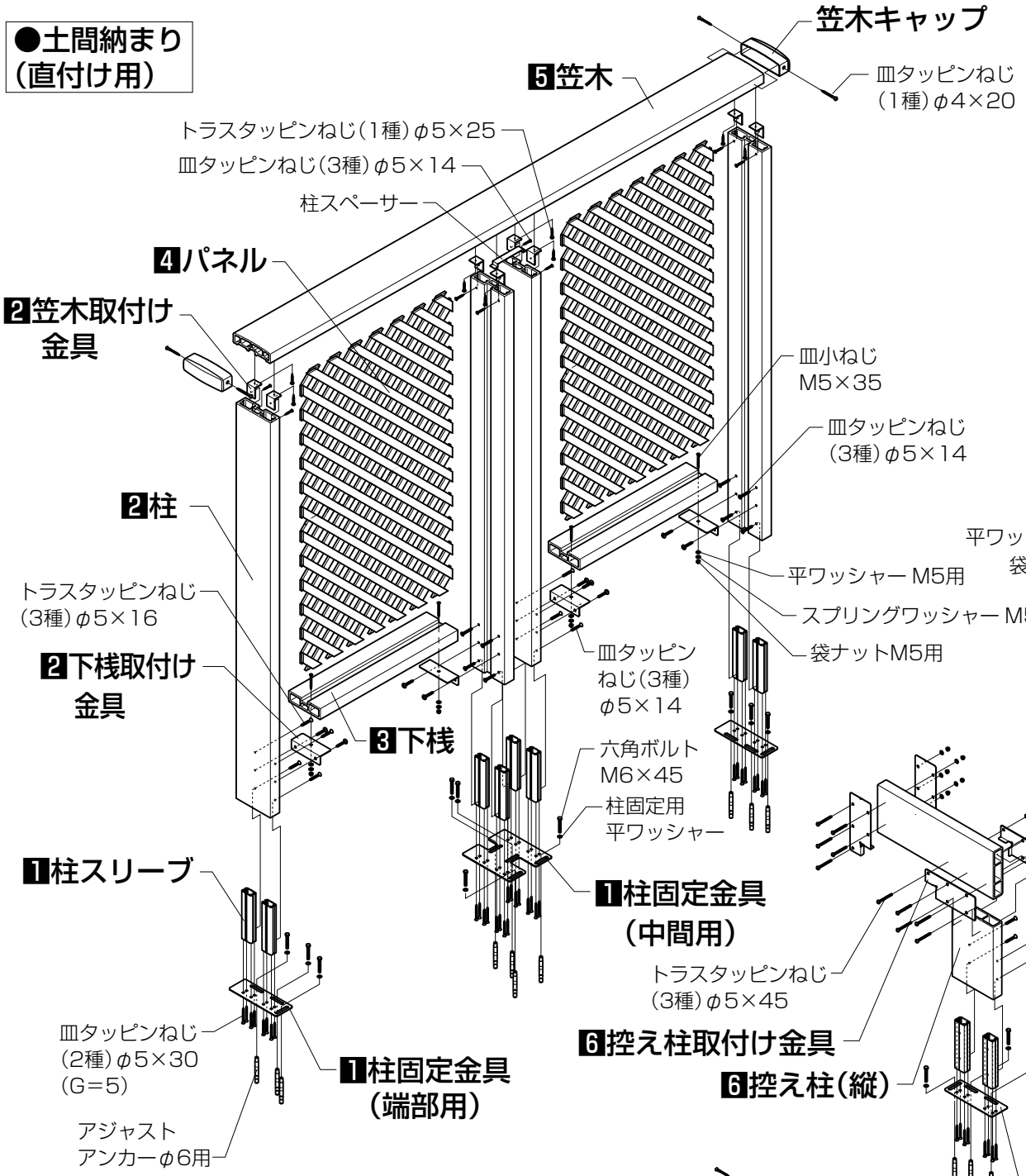
⚠注　意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注　意

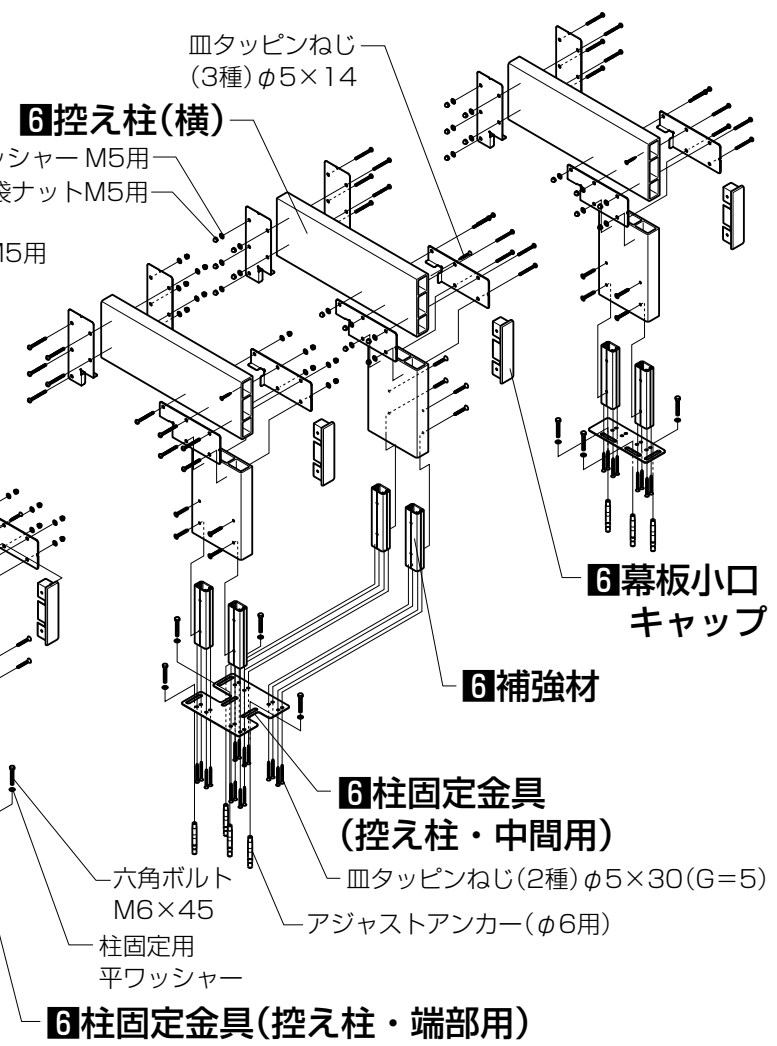
※製品の破損および落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
■取付け上の注意
●設置条件
・本製品は一般住宅の1階取付け用です。それ以外には取付けないでください。
・本製品を手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度がないため、落下・転落のおそれがあります。
●部品の固定
・組立てねじ、ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるまないように締付けてください。
●基礎について
・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
・海砂を使用の場合は、水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
・取付け前に調査を行い、地下埋設物(給配水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
・寒冷地では凍上線より下まで柱(補強材)を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
・養生期間は十分(4日～ 1週間以上)にとり、その間は重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
・コンクリート(又はモルタル)に急結材は絶対に使用しないでください。
※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●シーリングについて
・シーリングは指定の個所に必ず行ってください。

■構造説明図

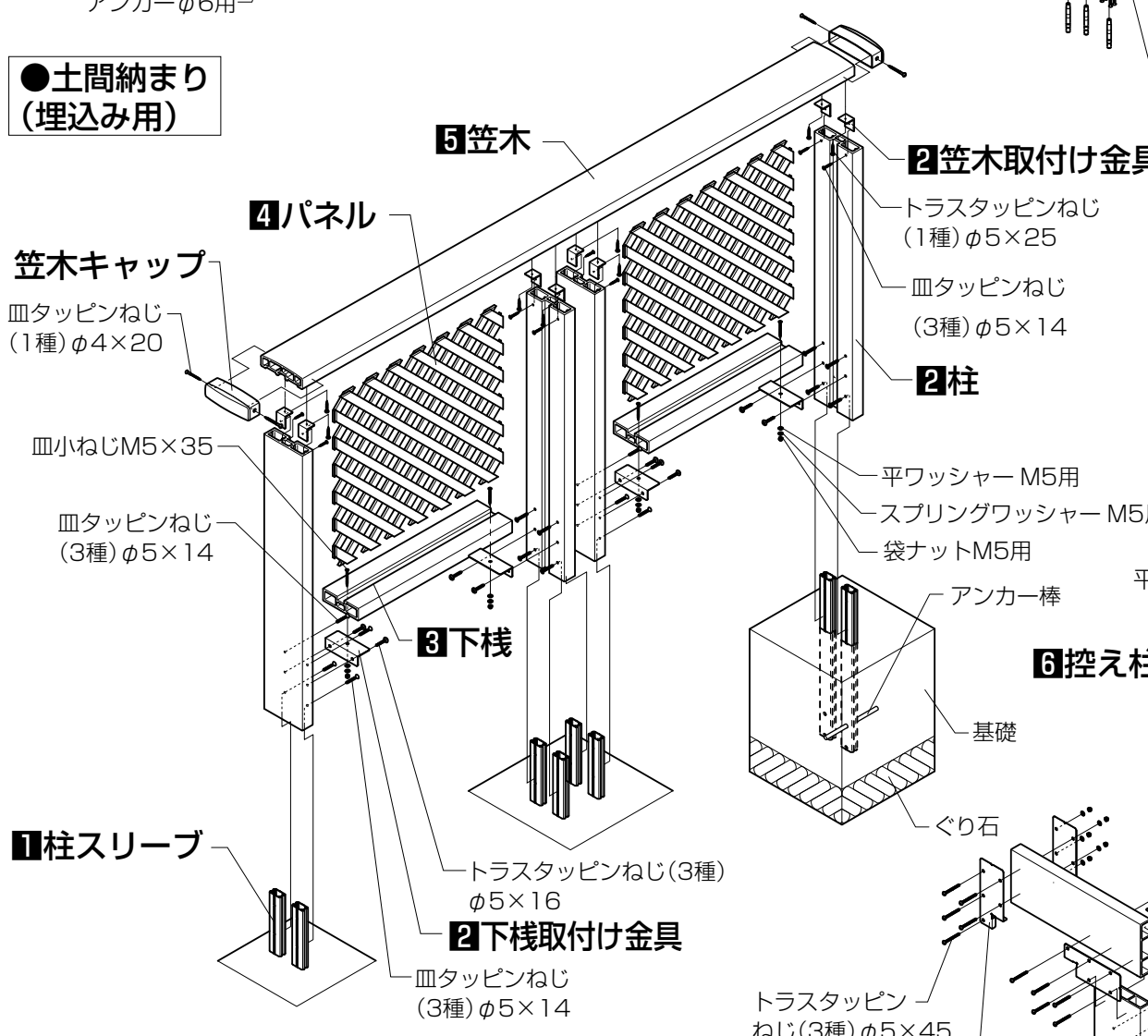
●土間納まり（直付け用）



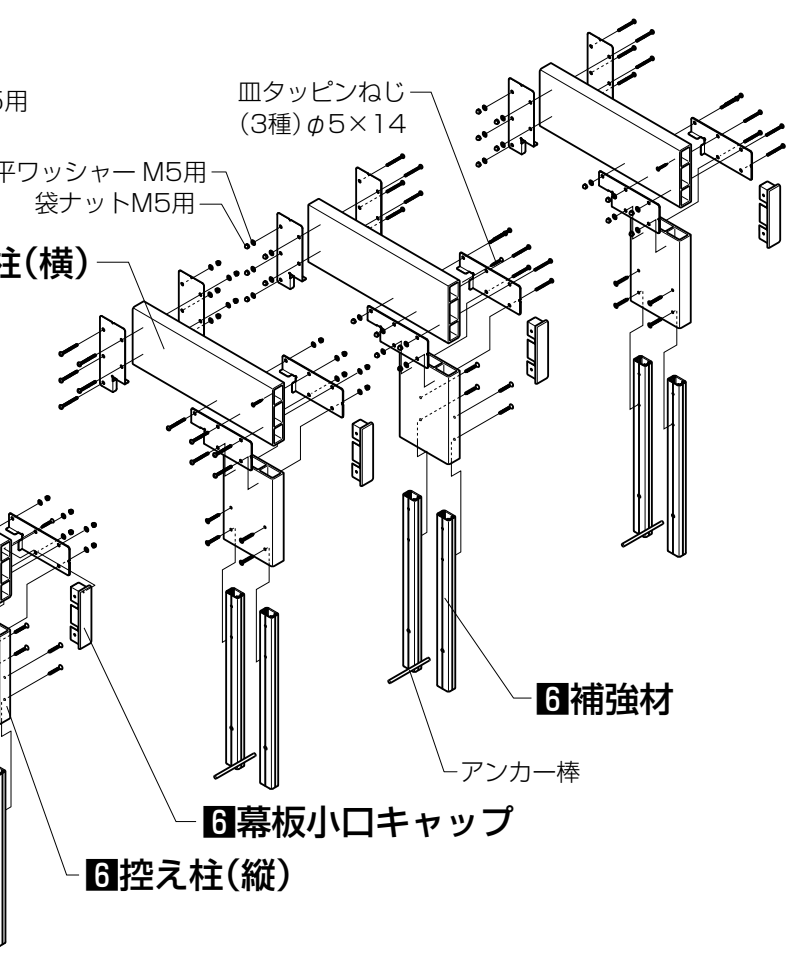
●控え柱（土間納まり直付け用）



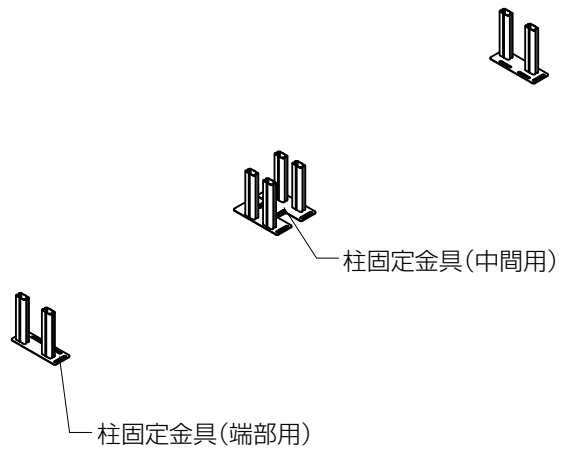
●土間納まり（埋込み用）



●控え柱（土間納まり埋込み用）

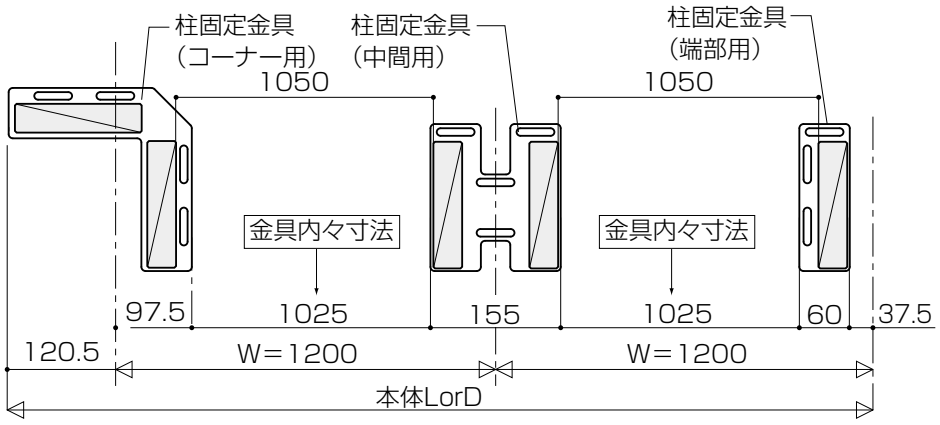


❶柱固定金具の取付け（直付け仕様の場合）



❶柱固定金具の取付け（直付け仕様の場合）

①柱固定金具と柱スリーブを**「■柱固定金具の組立て」**のように組立て、その後柱固定金具の位置出しをします。

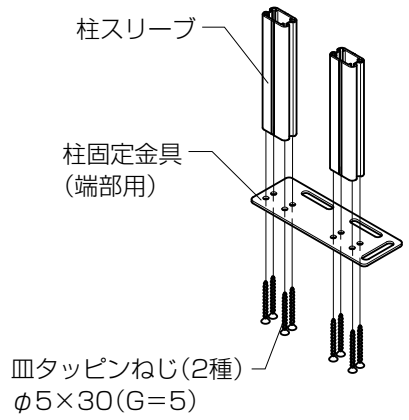


※本図は規格W寸法（W＝1200）の場合を示します。W寸法は、現場に合わせて決めてください。

※井桁格子の切詰めは制限があります。詳細は**「リコステージフェンス取付け説明書」**を参照してください。

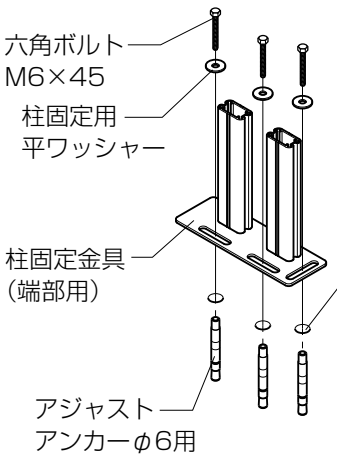
②柱固定金具をアジャストアンカーで固定します。（下穴深さ105）

■柱固定金具の組立て

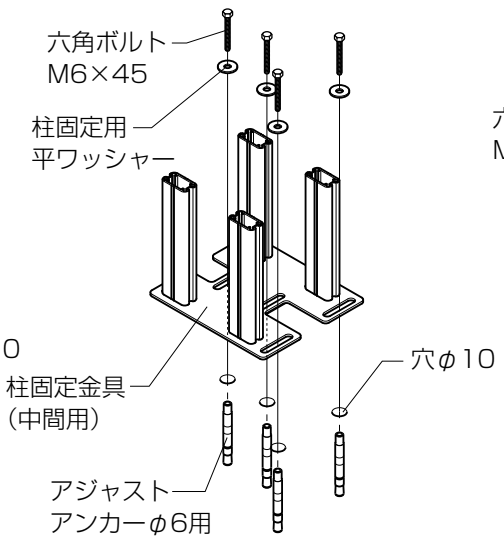


※本図は端部用の組立てを示します。中間用・コーナー用も同じ方法で組立ててください。

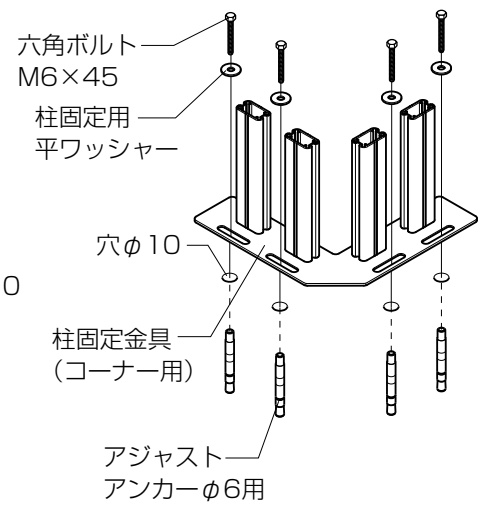
【端部】



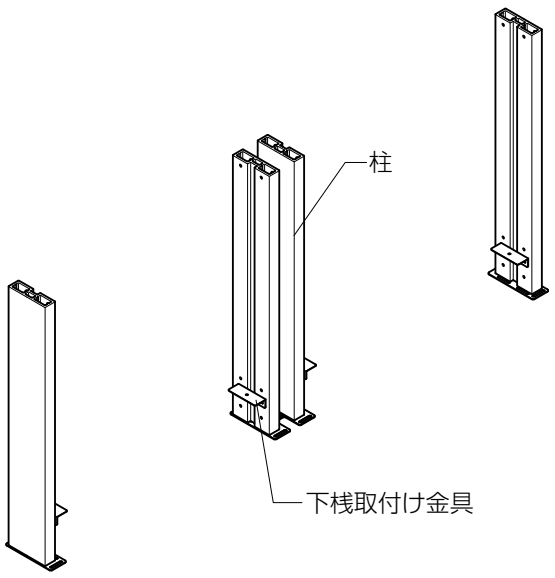
【中間部】



【コーナー部】

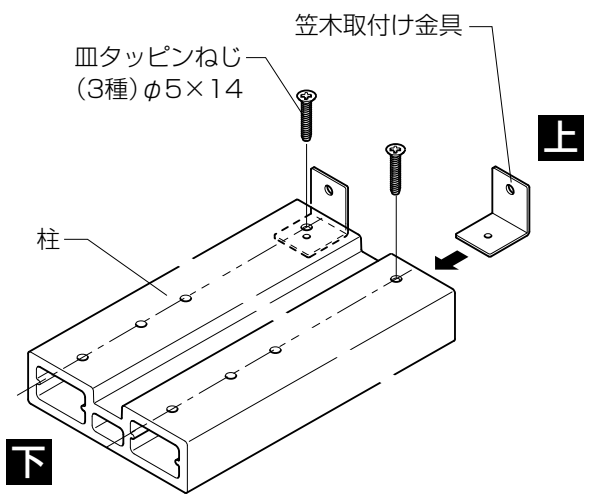


❷柱の取付け【直付け仕様の場合】



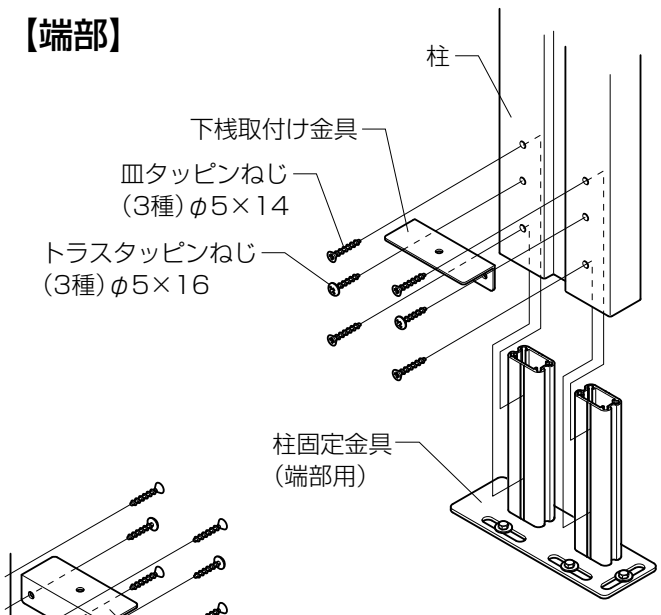
❷柱の取付け【直付け仕様の場合】

①柱に笠木取付け金具を取付けます。

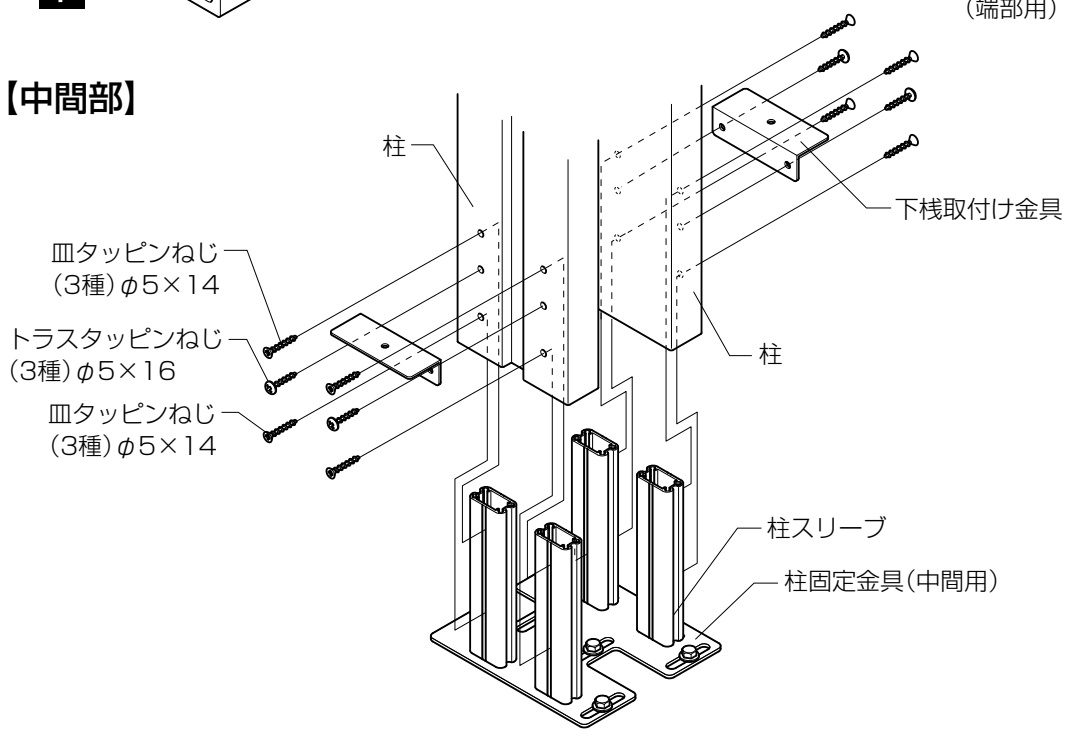


②柱固定金具に柱を固定します。

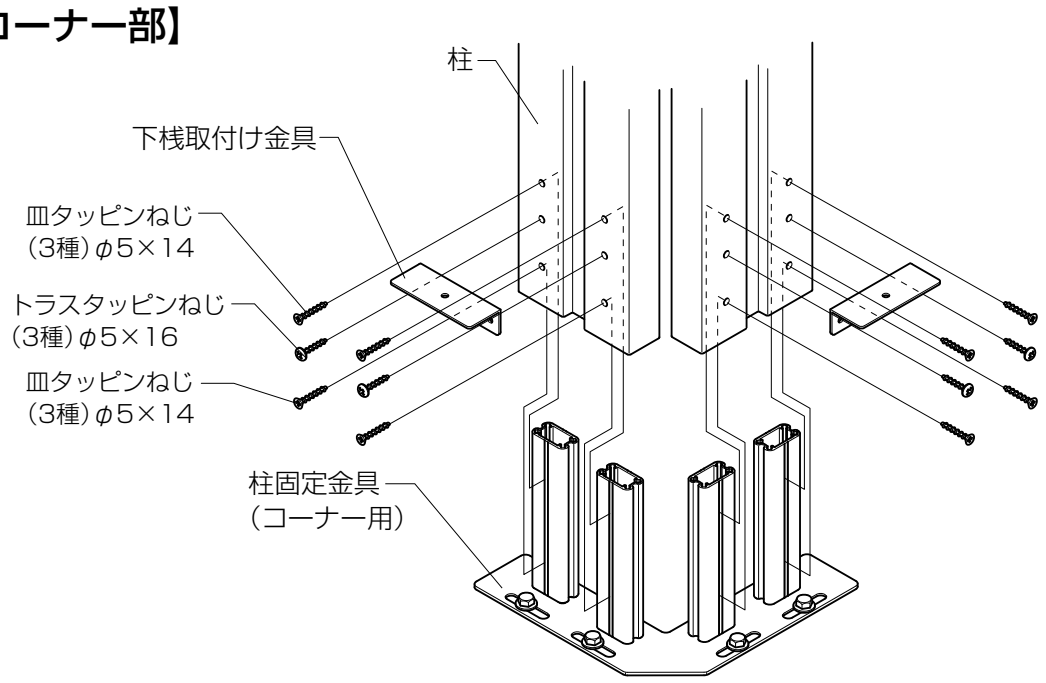
【端部】



【中間部】



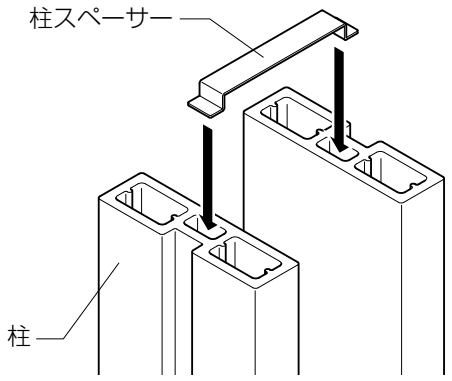
【コーナー部】



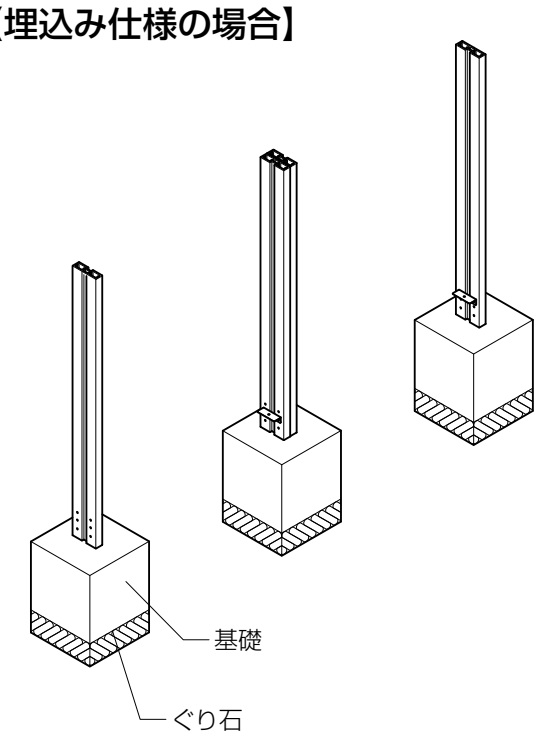
③フェンス(H＝1500・1800)の場合は、柱〔中間部〕に柱スペーサーを取付けます。

■フェンス(H＝1500・1800)の場合

※柱〔中 間 部〕に、
柱スペーサーを
取付けます。

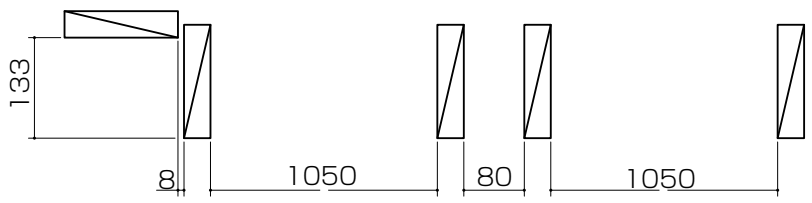


【埋込み仕様の場合】

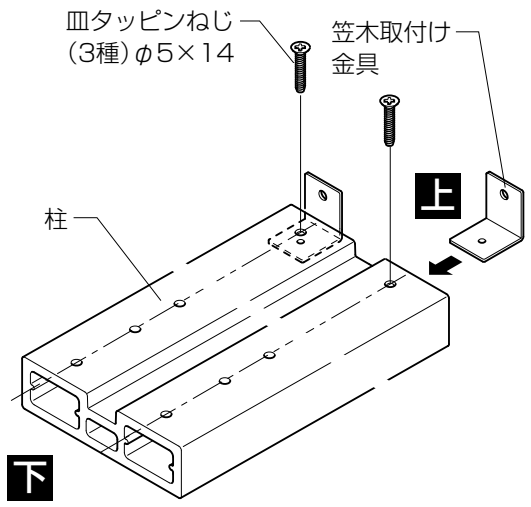


【埋込み仕様の場合】

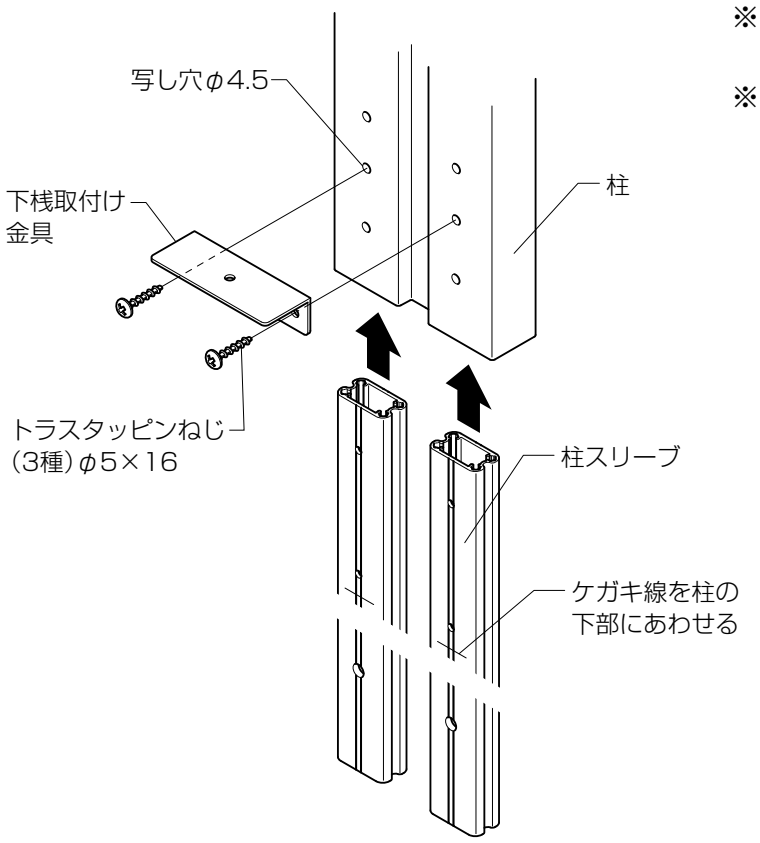
①柱の位置を下図のように位置出ししてください。
※本図は規格W寸法(W＝1200)の場合を示します。W寸法は現場に合わせて決めてください。
※井桁格子の場合は制限があります。詳細は、**「リコステージ フェンス取付け説明書」**を参照してください。



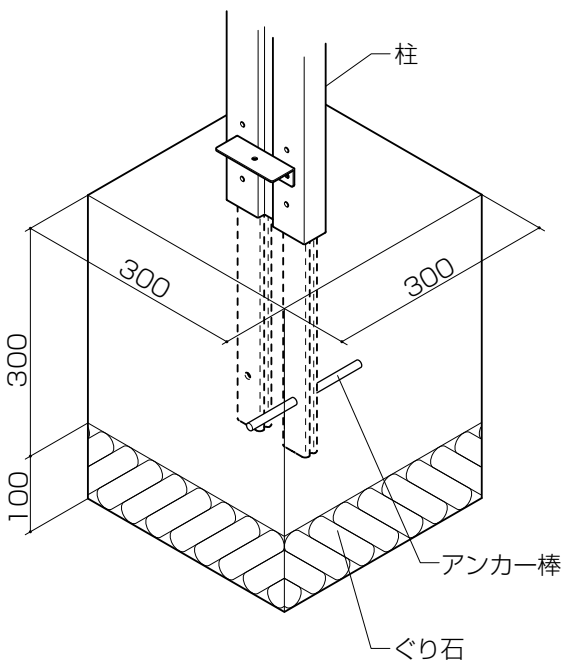
②柱に笠木取付け金具を取付けます。



③柱スリーブを柱に取付けます。



④下図のように柱をコンクリートで埋めてください。
※アンカー棒は柱スリーブのどちらか一方に差込んでください。
※基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。

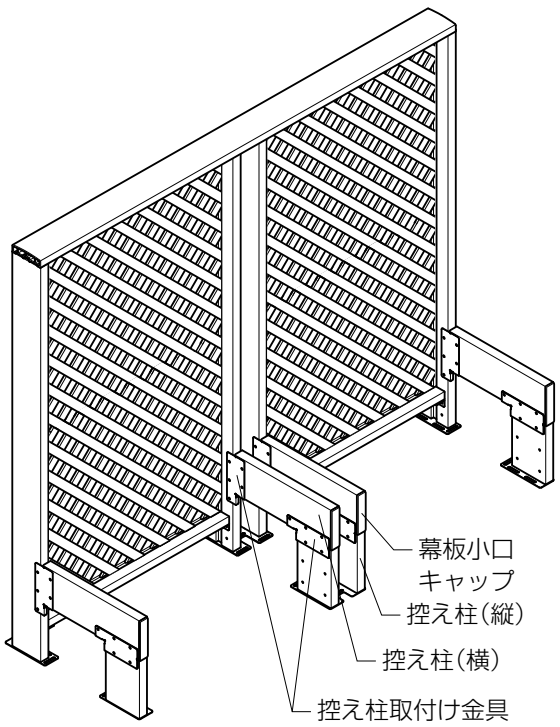


⚠ 注 意

- ●海砂を使用の場合は、水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
- ●取付け前に調査を行い、地下埋設物(給配水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- ●コンクリート(又はモルタル)に急結材は絶対に使用しないでください。

3下桟の取付け
4パネルの取付け
5笠木の取付け

6控え柱の取付け
〔フェンスH＝1500・1800〕

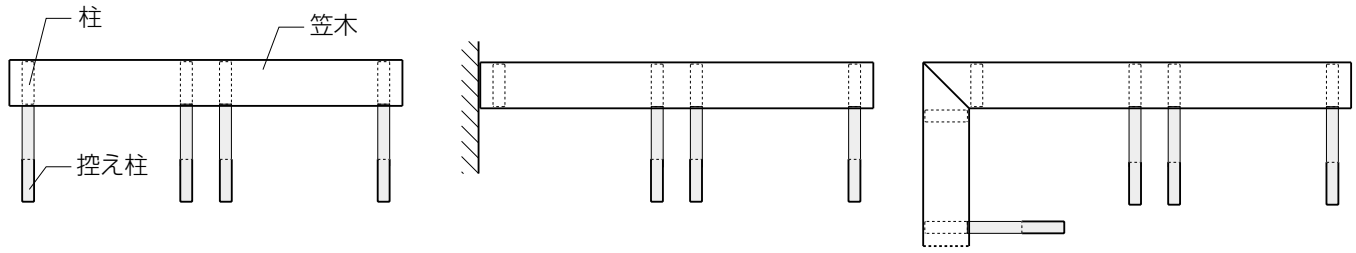


3下桟の取付け
4パネルの取付け
5笠木の取付け
}「リコステージ フェンス取付け説明書」を参照の上、取付けてください。

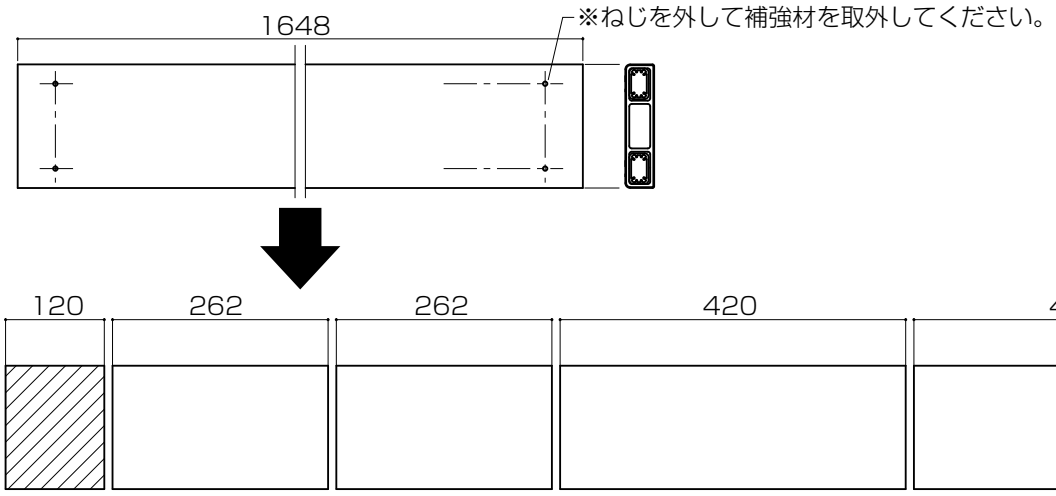
6控え柱の取付け〔フェンスH＝1500・1800〕

※コーナー部には、控え柱は取付けません。
※控え柱の取付けタイプは〔直線独立タイプ〕〔壁付けタイプ〕〔L型タイプ〕です。

〔直線独立タイプ〕　〔壁付けタイプ〕　〔L型タイプ〕

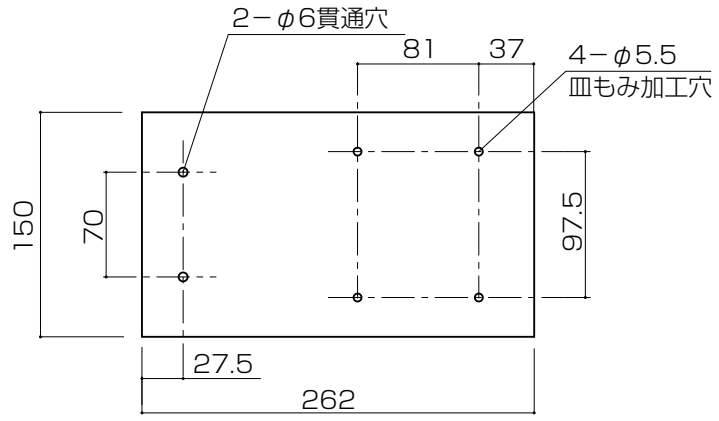


①控え柱を下図のように加工してください。
※両端を120mm切取った後、下図の部材を加工してください。

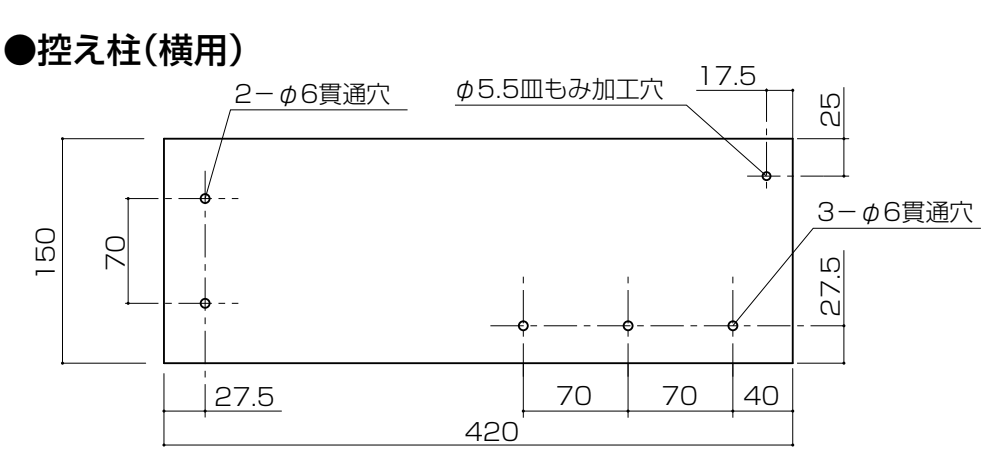


②控え柱(縦用)、(横用)を下図のように穴加工してください。

●控え柱(縦用)

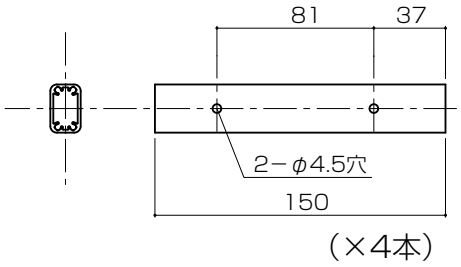


●控え柱(横用)



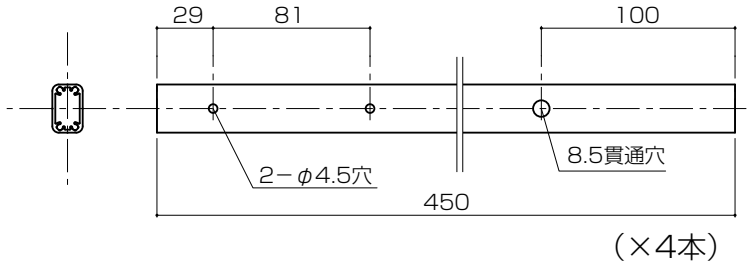
③①で取外した補強材を下図のように加工してください。

●土間直付け納まり



（×4本）

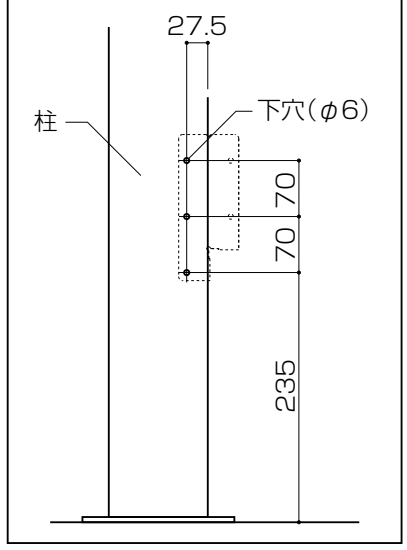
●土間埋込み納まり



（×4本）

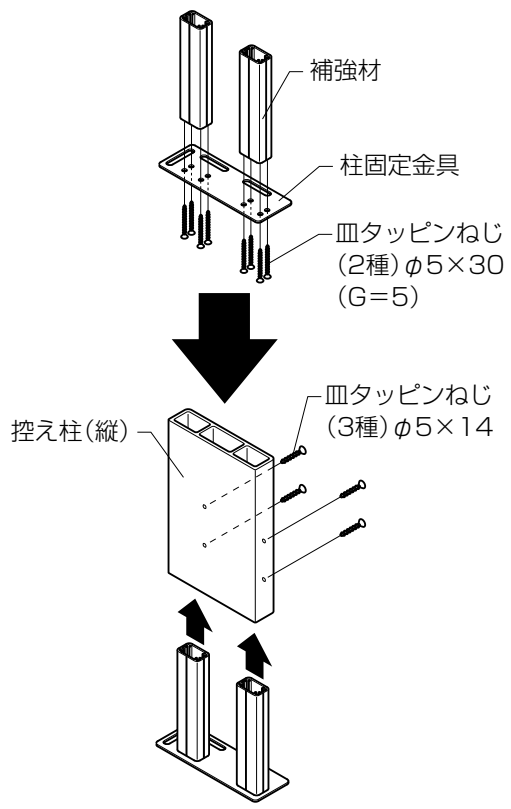
④控え柱(横)に幕板小口キャップを取付けます。
※控え柱を取付けたときにねじが内側にくるようにしてください。
※ねじは1点止めとなります。
※幕板小口キャップは幕板形状に合わせ、取付けてください。
⑤左下図のように控え柱(縦)に補強材を取付けます。
⑥控え柱(縦)と控え柱(横)を、控え柱取付け金具でL型に組立てます。
⑦控え柱(横)を柱に合わせ、控え柱取付け金具を柱に固定します。
※柱の穴位置は右図を確認してください。
⑧補強材又は、柱固定金具を土間に固定します。

■柱の穴位置

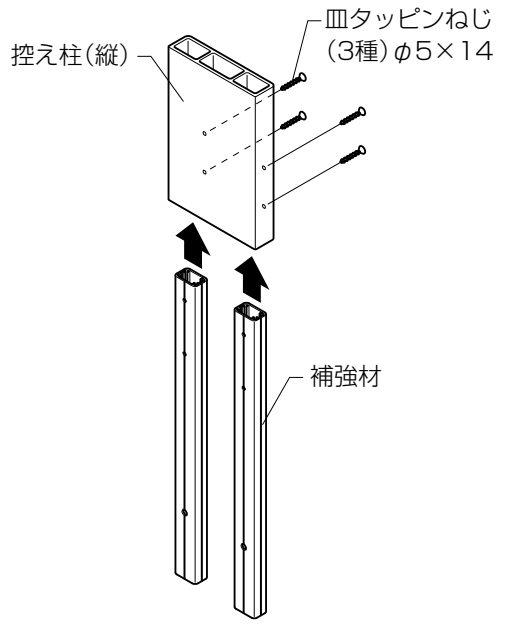


■控え柱(縦)の組立て

●土間直付け納まり



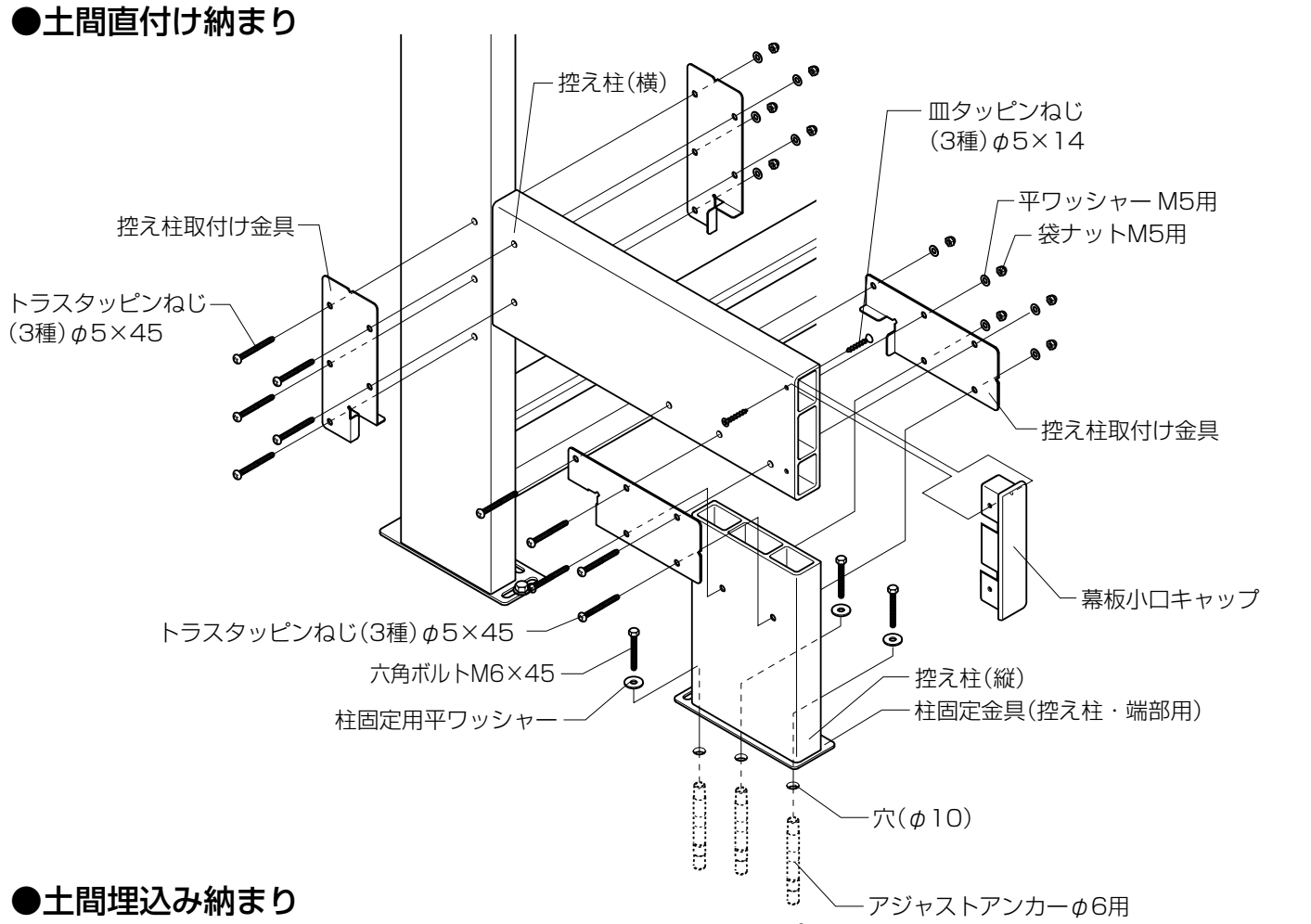
●土間埋込み納まり



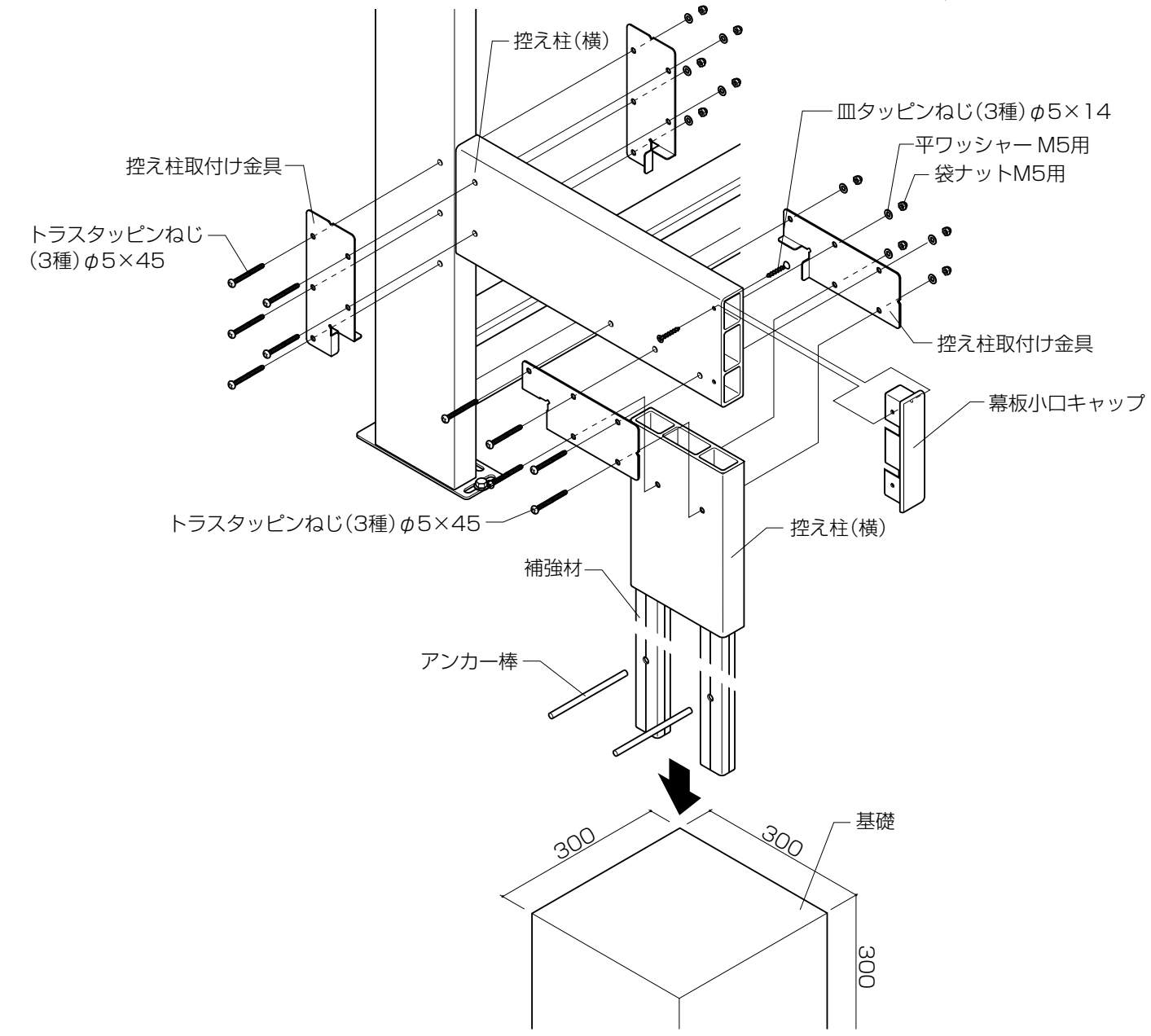
⚠注　意

- ●海砂を使用の場合は、水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
- ●取付け前に調査を行い、地下埋設物(給配水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- ●コンクリート(又はモルタル)に急結材は絶対に使用しないでください。

●土間直付け納まり



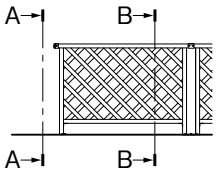
●土間埋込み納まり

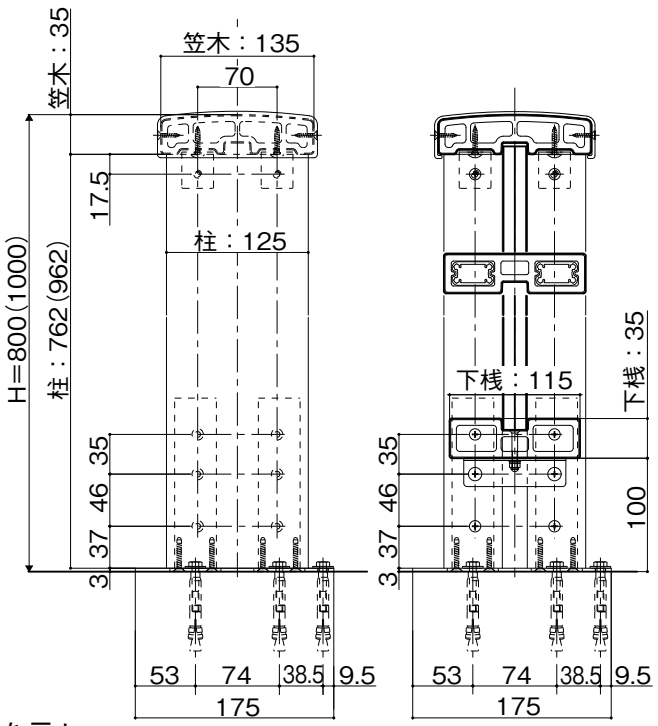


■納まり図

●フェンス(H=800・1000)土間納まり(直付け)

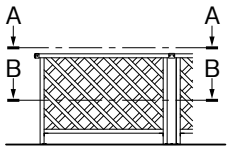
■切断位置

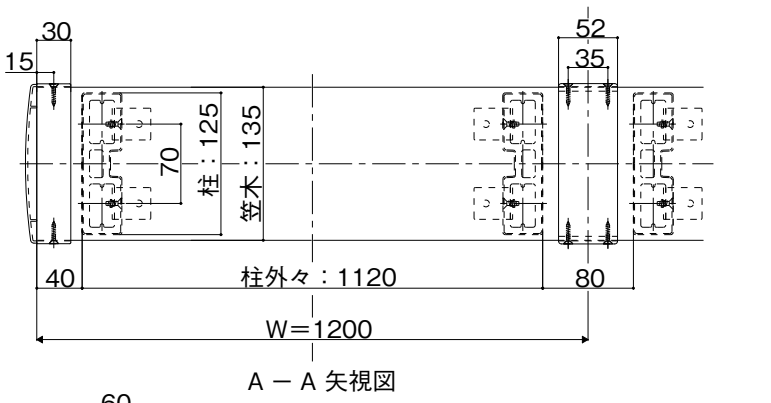




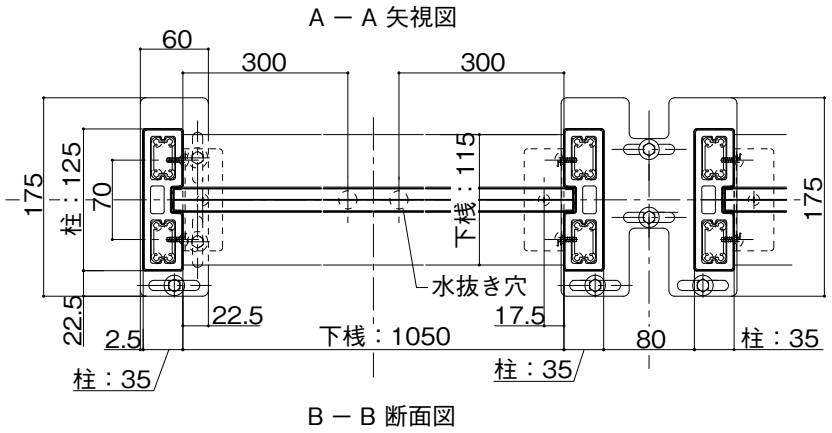
A － A 矢視図　　B － B 断面図

■切断位置





A － A 矢視図

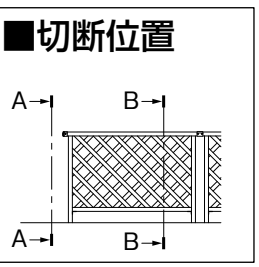


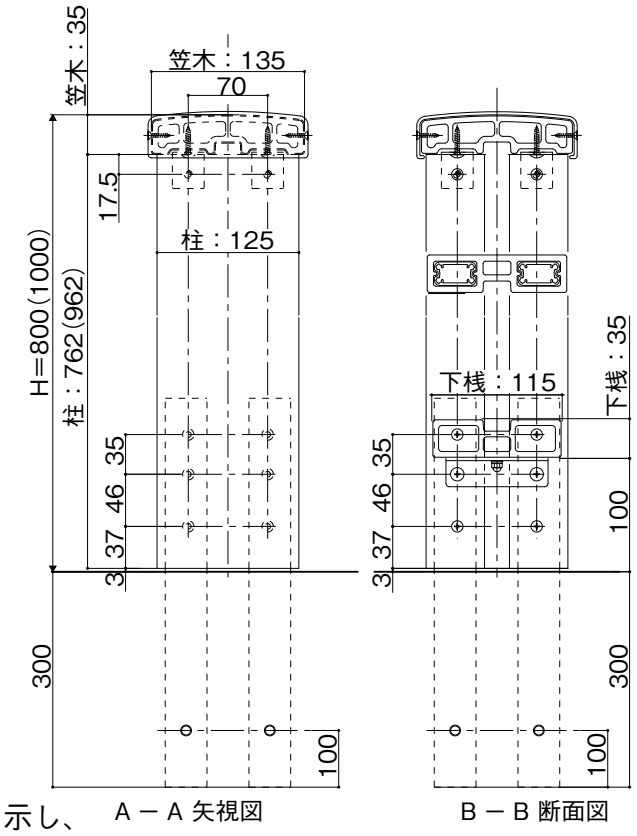
B － B 断面図

※本図はH＝800用を示し、
H＝1000用は(　　)に示します。

●フェンス(H=800・1000)土間納まり(埋込み)

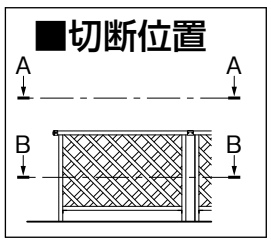
■切断位置

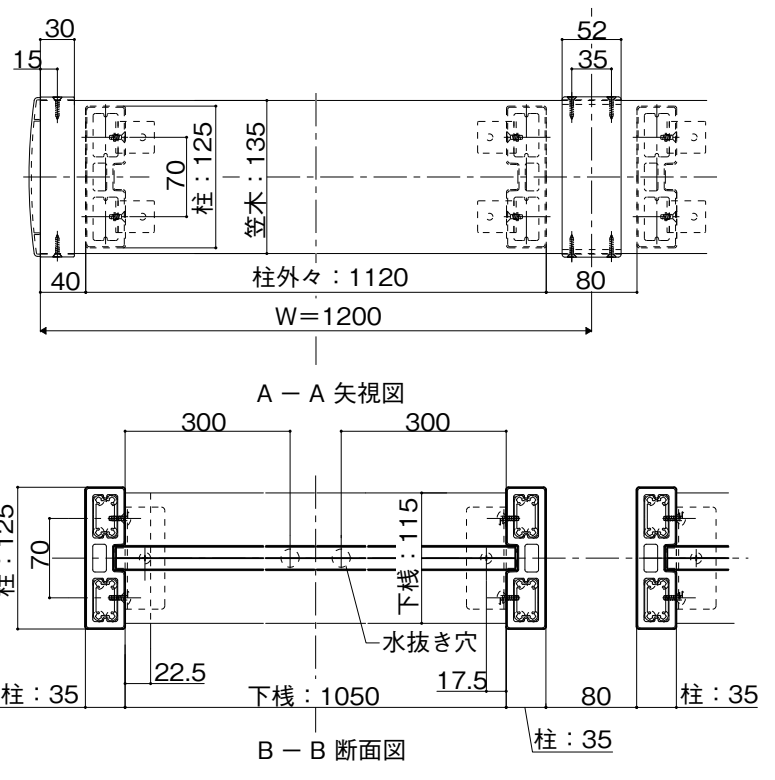




A － A 矢視図　　B － B 断面図

■切断位置





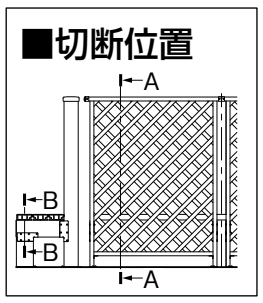
A － A 矢視図

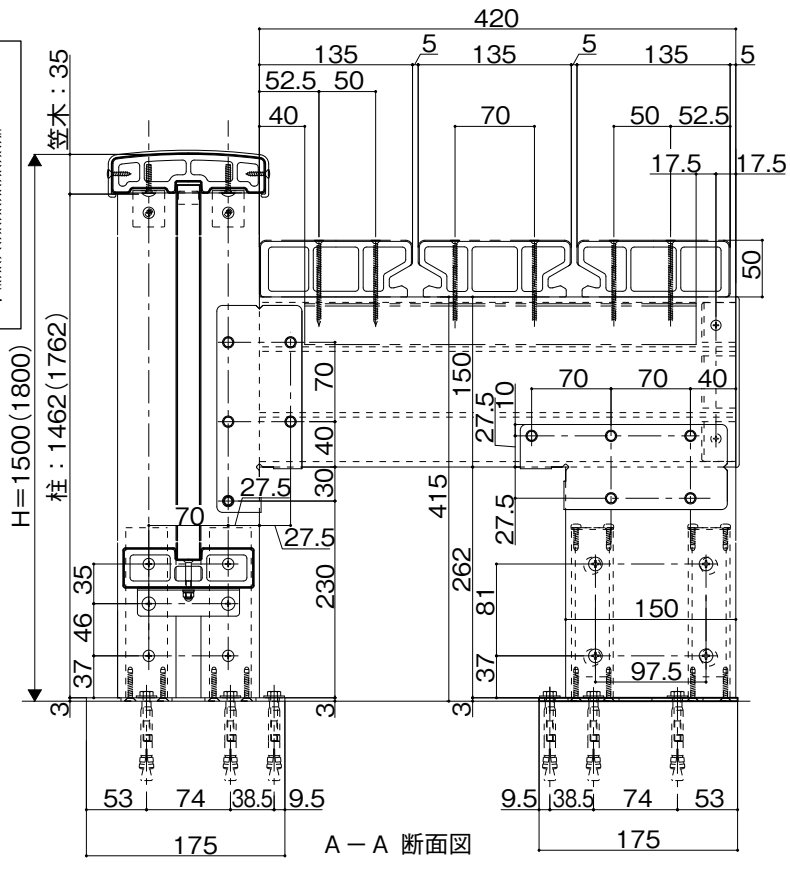
B － B 断面図

※本図はH＝800用を示し、
H＝1000用は(　　)に示します。

●フェンス(H=1500・1800)土間納まり(直付け)

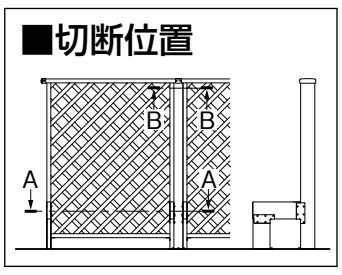
■切断位置

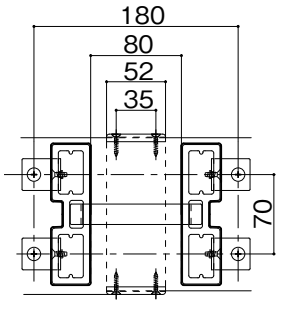




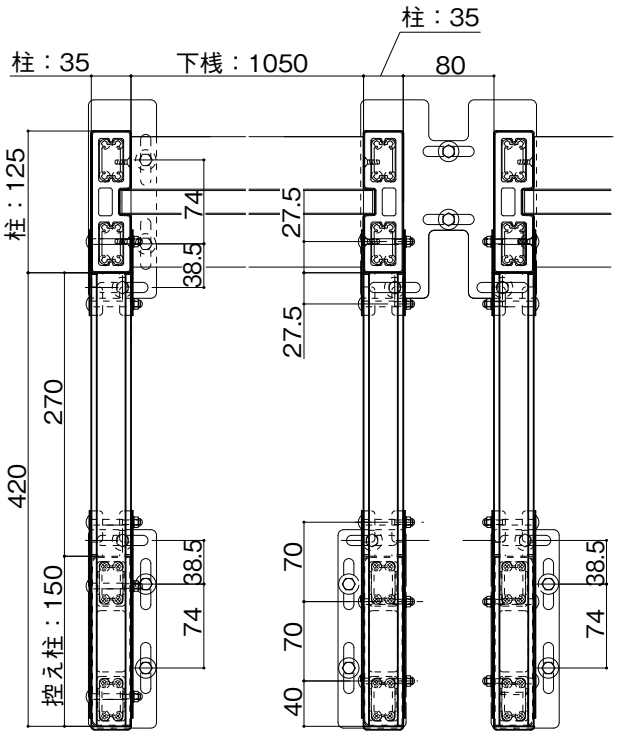
B － B 断面図　　A － A 断面図

■切断位置





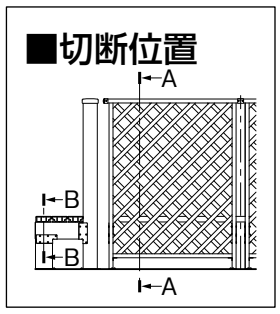
B － B 断面図

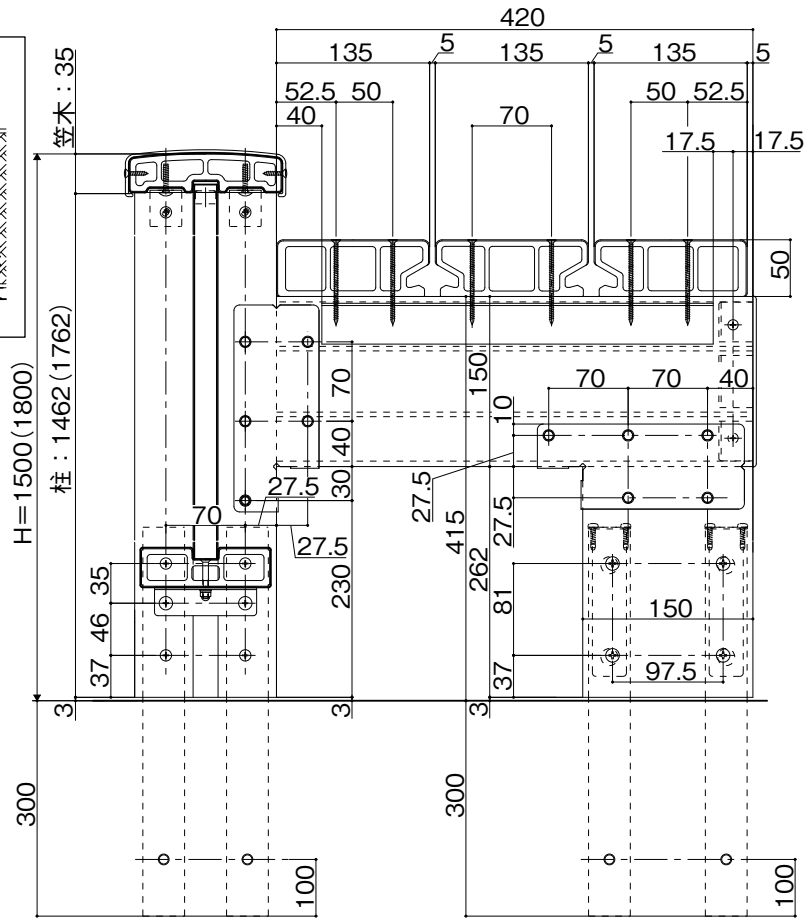


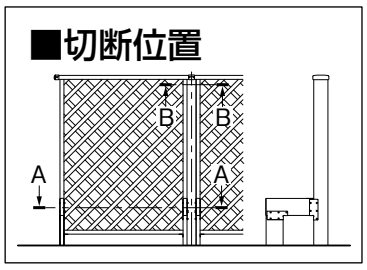
A － A 断面図

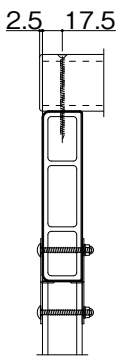
※本図はH＝1500用を示し、H＝1800用は(　　)に示します。

●フェンス(H＝1500・1800)土間納まり(埋込み)

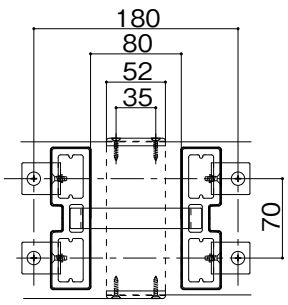




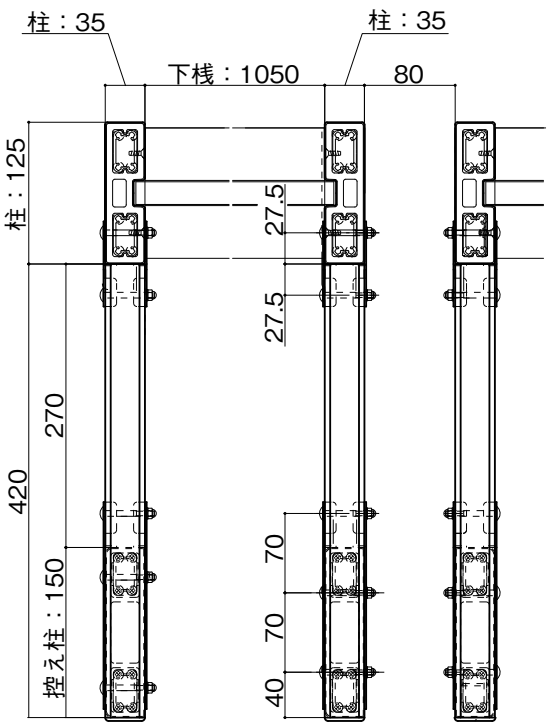




B － B 断面図



B － B 断面図



A － A 断面図

※本図はH＝1500用を示し、H＝1800用は(　　)に示します。

■梱包明細表

●柱固定金具セット

名　　称	員数
柱補強材	4
アンカー棒	2
トラスタッピンねじ(3種)φ5×14	4
取付け説明書	1

●柱固定金具セット

名　　称	員数		
	中間用	端部用	コーナー用
柱固定金具(中間用)	1	ー	ー
柱固定金具(端部用)L	ー	1	ー
柱固定金具(端部用)R	ー	1	ー
柱固定金具(コーナー用)	ー	ー	1
柱スリーブ	4	4	4
柱固定用平ワッシャー	4	6	4
アジャストアンカーφ6用	4	6	4
六角ボルトM6×45	4	6	4
皿タッピンねじ(2種)φ5×30	17	17	17
取付け説明書	ー	1	ー

●控え柱セット

名　　称	員数		
	1本入り EXTエッセン	1本入り EXTビンテージ	1本入り EXTナチュラル
控え柱	1	1	1
フレーム固定金具 ※	2	2	2
柱・はり端部キャップ ※	1	1	1
トラスタッピンねじ(3種)φ5×14 ※	2	2	2
皿タッピンねじ(3種)φ5×14 ※	5	5	5

※控え柱納まりでは使用しません。